

平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東  
 コード番号 3668 URL http://colopl.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)馬場 功淳  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)土屋 雅彦 (TEL)03(6721)7770  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の業績 (平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	10,256	—	3,399	—	3,441	—	1,956	—
24年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年9月期第3四半期	50 92		48 53					
24年9月期第3四半期	—		—					

- (注) 1. 当社は第3四半期の業績開示を平成25年9月期より行っているため、平成24年9月期第3四半期の記載及び平成25年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 当社は平成24年12月13日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成25年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成25年9月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。  
 3. 当社は平成25年6月1日付にて1株を5株にする株式分割を行っております。また、これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	10,026	6,676	66.6
24年9月期	4,567	2,567	56.2

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 6,676百万円 24年9月期 2,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想 (平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	195.8	4,500	200.3	4,540	202.7	2,497	220.8	21 52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は平成25年6月1日付にて1株を5株にする株式分割を行っております。また、平成25年7月31日開催の取締役会において、平成25年9月30日を基準日とする普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行うことを決議いたしました。なお、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期会計期間より減価償却の方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期3Q	39,460,500株	24年9月期	35,560,500株
25年9月期3Q	—株	24年9月期	—株
25年9月期3Q	38,417,643株	24年9月期3Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 1. 当社は第3四半期の業績開示を平成25年9月期より行っているため、平成24年9月期第3四半期の期中平均株式数を記載していません。

2. 平成25年6月1日付にて1株を5株にする株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政権交代後の経済政策・金融緩和政策への期待感から、円高の是正や株価回復の兆しが見られるものの、特にアジア経済の景気減退を受け個人消費を含めた停滞感など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中で、国内でのスマートフォンの普及は引き続き順調に推移しており、2013年版の情報通信白書によりますと、日本のスマートフォン普及率は38%にまで達したとのことです。スマートフォンの普及に比例して、当社が属するスマートフォンゲームアプリ市場も大きな成長を続けております。

当社におきましては、市場拡大を背景に既存タイトルの広がりや新規タイトル投入に注力してまいりました。売上の多くを占めるオンライン型ゲームアプリでは、前事業年度に提供を開始いたしました「秘宝探偵キャリー」「プロ野球PRIDE」といった既存タイトルが過去最高月次売上高を更新するなど、当第3四半期会計期間は順調な拡大を示しました。また、平成25年3月に提供を開始いたしました「クイズRPG 魔法使いと黒猫のウィズ」が急速に立ち上がり大きく業績に寄与しました。新規タイトルとしましては、4月にダークファンタジーゲーム「SHADOWHAZE (シャドウヘイズ)」をリリースいたしました。集客を目的とするライトゲームアプリブランドである「Kuma the Bear (クマ・ザ・ベア)」は、より手軽に楽しむことができるウルトラライトアプリを中心に当第3四半期会計期間では17本の新作を投入し、累計での提供本数は40本となりました。中でも4月に提供を開始しました「一瞬のスキマ!」は開始40日間で100万ダウンロードを突破するなど大変好評でした。5月末にはオンライン型ゲームアプリ及びKuma the Bearブランドアプリを合算したスマートフォン向けアプリ全体の累計ダウンロード数が3,000万件を突破いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は10,256,173千円、営業利益は3,399,431千円、経常利益は3,441,927千円、四半期純利益は1,956,391千円となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は9,501,643千円となり、前事業年度末に比べ5,516,857千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加(前事業年度末比3,939,430千円増)、売掛金の増加(前事業年度末比1,449,358千円増)によるものであります。

また、固定資産は524,361千円となり、前事業年度末に比べ58,157千円減少いたしました。これは主に、第2四半期会計期間においてオフィス移転に伴う前オフィスの差入保証金返還があったことによる敷金及び保証金の減少(前事業年度末比64,289千円減)によるものであります。

以上の結果、総資産は10,026,004千円となり、前事業年度末に比べ5,458,699千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は3,272,200千円となり、前事業年度末に比べ1,348,669千円増加いたしました。これは主に、未払金の増加(前事業年度末比538,449千円増)、未払法人税等の増加(前事業年度末比330,058千円増)によるものであります。

また、固定負債は77,573千円となり、前事業年度末に比べ861千円増加いたしました。

以上の結果、負債合計は3,349,774千円となり、前事業年度末に比べ1,349,531千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は6,676,230千円となり、前事業年度末に比べ4,109,167千円増加いたしました。これは主に、第1四半期会計期間に新規上場のための公募発行増資を実施したことに伴う資本金の増加（前事業年度末比1,076,400千円増）及び資本剰余金の増加（前事業年度末比1,076,400千円増）、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加（前事業年度末比1,956,391千円増）によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績見直しにつきましては、当第3四半期累計期間の業績を踏まえた見直しを行いました結果、平成25年5月1日発表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載した通期業績予想を上方修正することといたしました。

なお、別途、平成25年7月31日に「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3 【四半期財務諸表】  
(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,070	6,387,501
売掛金	1,362,361	2,811,720
たな卸資産	6,044	5,622
その他	170,705	299,043
貸倒引当金	△2,395	△2,244
流動資産合計	3,984,786	9,501,643
固定資産		
有形固定資産	200,891	177,549
無形固定資産	12,148	17,007
投資その他の資産	369,478	329,804
固定資産合計	582,519	524,361
資産合計	4,567,305	10,026,004
負債の部		
流動負債		
未払金	998,049	1,536,498
未払法人税等	730,321	1,060,380
賞与引当金	—	56,709
その他	195,159	618,611
流動負債合計	1,923,530	3,272,200
固定負債		
資産除去債務	76,711	77,573
固定負債合計	76,711	77,573
負債合計	2,000,242	3,349,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,379	1,582,779
資本剰余金	503,180	1,579,580
利益剰余金	1,557,503	3,513,895
株主資本合計	2,567,063	6,676,254
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△24
評価・換算差額等合計	—	△24
純資産合計	2,567,063	6,676,230
負債純資産合計	4,567,305	10,026,004

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,256,173
売上原価	5,300,850
売上総利益	4,955,323
販売費及び一般管理費	1,555,892
営業利益	3,399,431
営業外収益	
受取利息	2,963
為替差益	54,765
雑収入	110
営業外収益合計	57,839
営業外費用	
株式交付費	13,343
雑損失	2,000
営業外費用合計	15,343
経常利益	3,441,927
税引前四半期純利益	3,441,927
法人税等	1,485,536
四半期純利益	1,956,391

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、モバイルサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年12月13日付で東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資による払込を受け、新株式780,000株の発行を行いました。

その結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,076,400千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,582,779千円、資本剰余金が1,579,580千円となっております。

(6) 重要な後発事象

(株式分割)

当社は、平成25年7月31日開催の取締役会において、以下のとおり、株式分割することを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式分割することにより、当社株式の流動性を高めると共に、投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の目的

平成25年9月30日を基準日とし、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を1株につき3株の割合をもって分割いたします。

3. 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	39,460,500株
株式分割により増加する株式数	78,921,000株
株式分割後の発行済株式総数	118,381,500株
株式分割後の発行可能株式総数	450,000,000株

4. 株式分割の時期

効力発生日 平成25年10月1日

5. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円97銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	16円18銭

6. 新株予約権行使価額の調整

株式分割の実施に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たりの行使価額を平成25年10月1日以降、以下のとおり調整いたします。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権	156円	52円
第2回新株予約権	156円	52円
第3回新株予約権	280円	94円
第4回新株予約権	280円	94円
第5回新株予約権	280円	94円